

「新見市文化財保存活用地域計画（案）」の概要について

令和８年～１７年度を計画期間とした計画です。

本計画は、歴史文化の価値や魅力を、市民間で改めて共有し、地域総がかりで将来にわたり文化財を保存・活用していくことを目的に、具体的なアクションプランなどを示しています。

序章

本市には人々の長い営みの中で生み出され、育まれ、今日まで守り伝えられてきた歴史的・文化的・自然的資源が数多くあり、本計画では、文化財保護法で定義される文化財に加えて、文化財の枠に収まらないそれら全てを「にいみ遺産」と幅広くとらえ市民全体の共有の財産として保存・活用について考えていきます。

第１章 ～ 第８章

項 目	掲 載 内 容
第１章 新見市の概要	1. 新見市の地質、気候、動植物などの自然的状況 2. 行政区域の変遷、人口、産業、観光など社会的状況 3. 先史・古代～近代までの歴史的背景
第２章 にいみ遺産の概要	1. 指定等文化財の概要 2. 未指定文化財とその他のにいみ遺産の概要 3. その他の関連制度によるにいみ遺産の概要
第３章 歴史文化の特性	本市の歴史文化の特性についての概要 (1) まちを作った河川と新見盆地 (2) まちに恵みをもたらした中国山地の山と溪谷 (3) 暮らしの場を作り出したなだらかな吉備高原 (4) 中世新見の荘園と文化 (5) 今につながる近世新見のまちづくり、ひとづくり (6) 祈り・信仰を今に伝えるまち
第４章 にいみ遺産に関する調査の概要	1. にいみ遺産の把握調査の概要 2. にいみ遺産の把握調査の現状と課題
第５章 にいみ遺産の保存・活用に関する課題・方針・措置	基本方針「①にいみ遺産を誇りに感じる②にいみ遺産を守る③にいみ遺産を育て魅力を伝える④にいみ遺産を共有しつなぐ」に基づく課題・方針・措置
第６章 にいみ遺産の一体的・総合的な保存と活用	一体的・総合的に保存・活用するための「関連にいみ遺産群」の概要【１】古代から現代まで人が住み通り道となった川沿い【２】中国山地の深い山で生まれたたたたら製鉄と千屋牛【３】湿原と田園の景観と暮らし【４】暮らしの場となった石灰岩台地【５】中世文化の花開く荘園のまち【６】まちに残る藩主らの足跡と御殿町の成り立ち【７】思誠につながる人々—教育のまち・新見の原点【８】さまざまな奇祭と伝説
第７章 にいみ遺産の防災・防犯の推進	防災・防犯の現状と課題、方針、措置、災害時の連携体制
第８章 にいみ遺産の保存・活用の推進体制	にいみ遺産の保存・活用を推進するための体制について（行政・専門機関・支援団体・地域など）